

28 飯議 168 号
平成 28 年 12 月 7 日

飯田市
健康福祉部長
教育次長 各位

飯田市議会
議長 木下 克志

飯田市議会社会文教委員会からの提案について

飯田市議会社会文教委員会では、議会報告会からの市民意見、調査・研究を踏まえ、より良い飯田市となるよう以下、提案をします。

記

- 1 提案事項
別紙「平成 28 年度議会報告会を起点とした社会文教委員会の取り組みについて」による。
- 2 提案委員会
飯田市議会 社会文教委員会
委員長 新井信一郎、副委員長 清水可晴、
委員 竹村圭史、福沢清、後藤荘一、中島武津雄、村松まり子

平成 28 年度議会報告会を起点とした社会文教委員会の取り組みについて

飯田市議会社会文教委員会

はじめに

平成 28 年度議会報告会分科会のテーマ設定の背景に記載したが、飯田サッカー協会及び飯田ラグビーフットボール協会から飯田市議会議長宛に要望書が提出されたこと、昨年度（27 年度）の議会報告会の分科会の中でも一部の市民から提案があったこと、議員の一般質問等でもたびたびこれらの件に関して取り上げられたこと等から、平成 28 年度の議会報告会分科会のテーマとして、市民の皆さんのご意見を伺った。

あわせて、委員会としても、「園庭の芝生化」に関し先進地の取り組みを視察し、調査研究を行ってきた。

今回は、3 の理由でも記載したが、市民の皆さんの意見を伺うにあたり、具体的な数字等を示し意見交換をしたものではないこと、各種団体の主張はそれぞれであり、委員会としては集約できないこと等があるが、議会報告会で出された意見やこれまでの委員会活動を踏まえ一旦総括し、委員会の提案として担当部署へ提出するものである。

1 平成 28 年度議会報告会分科会のテーマ

「体育施設のあり方と活用について」

～市民の健康増進と将来を担う子どもたちのために～

2 議会報告会で出された意見を踏まえての方向性（提案）

- (1) 議会報告会で出された意見として、飯田市体育協会からは、南信州地域全体の視点を持つ複合文化施設（体育館）の建設提案があり、ラグビー協会及びサッカー協会から、規格や用途はそれぞれだが、専用の芝生グラウンド建設の要望があった。また、市民がよりスポーツに親しめることが大切であり、今ある施設の存続、それに伴う改修を行い、スポーツ合宿や大会誘致が可能な施設としても、活用できるようにすべきとの要望もあった。

一方で、人口減の中で今ある施設の維持管理も財政的に困難であることや新たな施設についても 10 万人規模の都市にあるべき施設のあり方、建設費や維持管理費等の財政負担の観点、有料での観戦誘客増の観点、さらに拠点集約化の観点から議論すべきとの意見もあった。

つきましては、これらの意見を踏まえ、飯田市公共施設マネジメント検討の中で、リニア時代を見据え、スポーツ施設のあり方（新設及び改修も含め）について、早急かつ前向きに検討をされたい。

- (2) 保育園、幼稚園、認定こども園の園庭芝生化については、現場の声や地域の実情をよく聞き、これを踏まえ、実施主体への補助も含めたモデル事業としての実施を検討されたい。

3 委員会の提案として担当する部署へ提出する理由

- (1) 今回の分科会は、テーマについて広く市民の意見を聞くとの立場で望み、そのため、その場でも出された意見について、議員や市民の皆さんと意見交換は行っていない。(いわゆる社会保障関係経費の額や全国的な基準で算定した公共施設の維持管理費の額を資料で配付するなど、金額等を含め、相対的に議論は行っていない)
- (2) また、関係する団体（飯田市体育協会、ラグビー協会、サッカー協会）へ参加の依頼をしたことから、必然的にその団体からの提案が多く出されている。その団体からの提案も、個人個人でそれぞれの思い、主張がある。施設の建設についても、どの程度の水準の規格に合致した施設なのか、普段の練習のできる施設なのか、興行的施設なのか、専用施設なのか、複合施設なのか、まちまちである。
- (3) 本格的な競技施設について、市民の利用状況、運営や維持管理の状況等を把握しているわけではない。したがって、今回の意見をもとに、社会文教委員会として何らかの集約を行うには、情報不足、研究不足である。
- (4) 一方で、関係する団体はそれぞれの主張があり、また、団体内でも個々それぞれ主張があるため、それを社会文教委員会で調整し、集約することは難しい。
- (5) 市では、飯田市公共施設マネジメント基本方針を策定し、その中で、公共施設の今後のあり方について検討をはじめている。

4 平成 28 年度議会報告会分科会での意見の概要

- (1) 各種団体等からの施設建設要望
 - ア トップアスリートの試合のできるサッカー施設。芝生のグラウンドが必要。
 - イ 国体が開催できる芝生のラグビー場が必要。
 - ウ 少年サッカーでの県大会が開催できるサッカー専用のグラウンドの建設。
 - エ サッカー及びラグビーが使えるグラウンドの建設。
 - オ サッカーと兼用グラウンドになるかもしれないが、高校ラグビー長野県大会の決勝戦を行えるグラウンドを整備。
 - カ トップアスリートが使うものではなく、ラグビー練習ができる芝生（野原のような）のグラウンドの建設。しかも、自転車で行ける範囲に数多く。維持管理は利用団体で行う。
 - キ 全国大会等ができる素晴らしい芝生のグラウンドが欲しいが、サッカーなり、ラグビーなりを普段から楽しめる気軽な芝生のグラウンドが増えるとよい。芝生の維持管理は、使用者や保護者も協力できるのではないか。
 - ク トップアスリートが練習や試合のできる体育館が欲しい。

- ケ グラウンドの数はあるが、体育館はレベルの高い大会や試合ができる施設はない。トップ選手にあこがれてスポーツを始める子もいる。
- コ 県レベル以上の大会（国際大会を含む）を開催できる施設がないので、そういった大会を開催できる施設。
- サ 砂入り人工芝のテニスコートを増設してもらいたい。天龍峡テニスコートを充実させれば、天龍峡の活性化にもつながる。
- シ 松尾グラウンドは養生期間が長く、使えるのは試合だけというのが実態で、養生期間が長い割にはグラウンドの状態が良いわけではない。
- ス 体育館も運動だけに固執せず、運動・文化・芸術・公民館が利用でき、国際的・全国的な催しが開催できる複合文化施設。
- セ 人口減の中で、地域の人達がスポーツに親しめることが大事で、頂点を目指すアスリートのための施設はどうか。種目毎の単独の施設ではなく、市民みんなが体育、運動だけでなく文化的にも使える施設が望ましい。
- ソ 国際大会の開催できる施設も良いが、維持管理費が多額で大変ではないか。

(2) 保育園・幼稚園、小・中学校の園庭及び校庭の芝生化について

- ア 入船幼稚園の園庭は、全面芝生である。維持管理は大変だが、保護者の協力でも草取りをしている。このことが結果として地域のつながりとなる。
- イ 校庭の芝生化ができれば最良である。芝生の校庭が学校の魅力となり、都会からの留学にもつながるのではないか。
- ウ 保育園庭の一部を芝生化は可能である。
- エ 公立保育園、保護者からは、これ以上の園事業への参加・協力は難しい。芝生の維持管理について、保護者へのこれ以上の負担をかけることは難しい。
- オ 幼児期については、芝生化より泥遊びが重要。芝生より周りの自然に親しむべき。
- カ 保育園の園庭の一部が駐車場として使われていて、芝生化は無理である。
- キ 保育現場、教育現場での意見を聞くことが必要。
- ク 校庭の芝生化は管理の面で困難である。現状、学校の校庭の維持管理さえできていない。PTAの立場からも管理に協力するのは難しい。
- ケ 小・中学校の校庭の芝生化は、校庭を駐車場等に使用するため難しい。
- コ 芝生は管理が大変。ボランティアでは無理。芝の草取りは年3回でも取り切れない。

(3) スポーツ観戦への意識の醸成

- ア トップアスリートの競技ができる施設の建設には、まず、この地域にそれだけの観客動員が見込まれるかが大切。現に高校野球の予選は、観客が少なく運営費

の収支があわないため、開催されなくなっている。

イ ホームチームを持って応援していこうというのがまだない。

(4) 現有施設の活用を

ア 今の施設の維持管理も困難である状況を市民に認識してもらうべき。

県施設でも統廃合が問題になっている。市民に必要な施設は大規模改修するしかない。

イ 新たな体育館をつくることも良いが、小学校の体育館を改修して使えないか。子どもも少なくなってきた。

ウ 小学校のグラウンド管理は、本来学校が行うべきであって、地域にあまり依存しないようにしてもらいたい。

エ 今あるものを改修して、合宿等の誘致につなげるなど、今あるものの活用を考えるべき。

(5) 広域的な取り組みを

ア 広域連合を含めて施設を考えたらどうか。

イ 伊賀良三日市場に集約して拠点施設を整備したらどうか。

ウ リニアを見据え、飯田市だけでなく南信州全体で考えることでできることもあるのでは。

(6) 現状の体育施設の充足に関して

ア 体育施設について、県内の他地域に比べこれほど施設が不足しているところはない。不足というより、何もない。

イ 人口当たりでどのような施設が一般的にあるのか、客観的データから判断していくべきではないか。

ウ 10万人都市として、施設の数が多いのか少ないのか。

エ 飯田市はスポーツ合宿におけるハード面で、他地域と比べて劣っているのか。

(7) その他

ア 財政面を考えて行う必要がある。健康増進のためにプラステンやラジオ体操を進めても良い。使用料の減免の見直しをしたらどうか。

5 資料

(1) 28年度議会報告会の意見交換会に係るテーマについて

(2) 平成28年度社会文教委員会所管事務調査（視察）報告抜粋